

かわにし

議会だより

第135号

2018

10.15



美味しい
川西米が一番

大塚小学校稲刈 P22に関連記事



川西町議会H.P
QRコード

シリーズ広聴

町が大好き

29年度決算 財政指標「健全」 6

6議員が町政をただす 13

新庁舎用地を取得 21

意見交換会 多様な意見 26

シリーズ
広聴
町が大好き
2

地方分権が進む中、首長も議会も、共に住民の意見を十分に聞き、政策に反映させる責務がある。議会では毎年住民との意見交換会を開いているが、各団体との意見交換会も実施している。
今回は、社会福祉協議会と産業厚生常任委員会の意見交換会を実施した。日夜、福祉の最前線で活躍をいただいている役員の方々に、まちづくりや行政に望むことなど、幅広く意見をお聞きした。

人生百年時代 みんなで支え合い 安心して暮らせる まちづくり

— 社会福祉協議会 役員の方々に



生涯にわたり暮らせるまちを = 社協役員と産業厚生常任委員



社協主催の福祉座談会 = 小松地区

会長 菊地 直さん
役場在職中は歩く法律。現在は方言研究家。要請されてザイゴ弁をひもとく。他称一見紳士録。自称多趣無芸。

常務理事 金田 忠夫さん
町職員退職後、役員として勤務している。「住民みんなで作る町社協」をモットーに日々励んでいる。趣味は野菜作り。

財政基盤の確立に向けた支援を / 住民との交流で地域福祉を支えたい

— 広聴企画の2回目
は社会福祉協議会の皆さんに登場していただきました。率直な意見をお聞かせ下さい。
まずは、社会福祉協議会（以下社協という）の組織と事業概要を教えてください。

常務理事 金田 忠夫さん
社会福祉法人制度の改革によって、理事が15名から8名に、評議員が31名から10名になりました。事務局は3名体制で、事業は訪問介護事業所17名、居宅介護支援事業所2名、放課後児童クラブ5名、通所型サービスA事業（すこやかサロン）3名で運営しています。

県、町、社協などが情報を共有し、地域で活躍する方々との交流を大切にして、地域福祉を支えていきたいと

思っています。

事務局 社協の事業は多岐にわたっていますが、①地域福祉、在宅福祉活動の推進②共同募金運動の展開③訪問介護等事業および居宅介護支援事業、に大別されます。

また、生活困窮者に対する相談事業も委託されています。

29年度会計決算では、収入が、町内全世帯からの会費収入、介護保険事業収入、受託金、補助金等で1億1111万円、支出は法人運営費、訪問介護事業、居宅介護支援事業、放課後児童健全育成事業等で1億1111万円となっています。（平間）

菊地 会長 第一に、財政基盤の確立です。町から事務職員2人分の人件費の56%を補助していただいています。近隣では90%補助の市町もあります。賃金水準も町職員の70%程度に抑制しており、介護収入で何とか成り立っている状況です。

第二に、住民理解です。広報誌「かけはし」やホームページにより情報提供に努めていますが、社協の活動内容を知らない住民が多いようです。

第三に、健康福祉センター整備について、身障協や老く連など多くの組織からの要望を受けています。新庁舎整備が終われば、次は健康福祉センターの整備をお願いします。

第四に、来年度法人化50周年記念事業として「町民福祉大会」の開催を予定しています。是非協力をいただきましたと思います。

— 職員の賃金水準は近隣と比較してどうですか。

常務理事 金田 忠夫さん 数値的な比較はありませんが、情報交換の中では平均以下でした。徐々に改善しています。

— ヘルパーのなり手不足対策や、職員育成に関する課題はありますか。

常務理事 金田 忠夫さん ヘルパーの確保については、今年度から資格取得のための受講経費貸付制度を設け、1人が利用しています。

また、職員を県社協が主催する研修等に派遣しています。

景観を損ねている空き家対策を／高齢者への雪対策が必要

— それでは、役員の方々が日頃考えていることをお聞かせ下さい。

関係団体と力合わせて

近野 副会長 私自身主任児童委員をしていまして、社協と民生児童委員は濃密な関係性を持っていて活動しています。関係団体とも手を携えながら事業を進めると

より良い活動ができると思います。

民生児童委員の活動は、福祉全般に関わ

って大きな役割を担っていただいていると認識しています。

気になる空き家

押野 理事 私が今一番気になるのは、空き家の増加です。景観を損ない、場合によっては倒壊による事故、

獣のすみかになるなど心配なことばかりです。生活環境整備の一環として空き家対策に取り組んでいただきたいと思っています。

空き家は所有者に管理責任があります。

町では危険な建物を所有者が撤去する場合、事業費の5分の4（上限40万円）を補助しています。

手を取り合って

鈴木 理事 産業厚生常任委員会の所管は、生産性を求める産業振興と、高齢者や低所得者への社会保障を担う

福祉・医療という、相反する分野です。財政が厳しい中でバランスをとることが、重要なことだと思っています。

生産性に関わりなく、平等だと思ってい

佐々木勝幸 理事 J A退職後に民生児童委員を長年務め、東沢ボランティア会及び自治会活動を通して、地域福祉支援に参加している。

ます。そのためには町の姿勢が重要であり、みんなで手を取り合って福祉事業を推進するべきと考えています。

雪対策、条例化を

佐々木 理事 川西町は豪雪地帯であり、今後高齢者への雪対策が一層必要になると思います。できれば条例化されることを期待します。また、地域のリーダー不足やボランティア活動の弱体化などに対する支援が必要と考えています。

— 山形県で、雪条例（仮称）を12月議会定例会に提案する予定です。

雪条例は雪に対する行政中心の取り組みに加え、県民や事業者の役割を明確化し、克雪・利雪・親雪を推進

する際の基本的事項を定めるとしています。

また福祉を支える人材育成も急務の課題です。

食への必要とする方への支援

松田 理事 社協への相談の中に、「いま食べるものがなく困っている」という深刻なケースがあります。食へのことは重要です。住民の皆さんから頂いた

食料品（米、乾麺、缶詰など）を生活困窮者への支援としてお上げしています。今後も皆さんからの食料品ご寄付にご理解をお願いします。

— 各地で生活困窮者に対する支援の輪が広がっていますからね。

重い負担、軽減を

金子 理事 子どもたちの未来のための取り

組み、家庭への支援が必要と考えます。

また社会福祉協議会では、1世帯当たり会費1200円と赤い羽根募金700円の協力をお願いしていますが、高齢者世帯には負担が重いのではないかと思います。

— 高齢者世帯の税外負担は、今後大きな課題になっていくと思います。町や地域で具体的に

松田 正子 理事 福祉施設に在職中、言語聴覚士を取得。町の「幼児ことばの相談」を手伝って7年目。小物作りや、ご詠歌を楽しむ。



的な支援策を考える時期だと思えます。

持続可能な地域づくり

佐々木 監事 川西町は交流センターを核とした地域づくり活動が充実しています。これからは、サービスを受ける側も参画するよう地域づくりが必要だと思います。自助、共助により、持続可能な集落が成り立つと考えて

金子 正美 理事 小松小学校校長を退職後、教育委員会教育委員並びに教育相談員として勤務。そば打ちやソフトボール等を楽しんでいる。



います。

— 過疎化、少子高齢化は国全体の課題です。持続可能な地域づくりが求められていますね。

家族の在り方を再考

青木 監事 高齢者世帯では、どもに相談しないで行政に頼る傾向があります。まず子どもに相談し、子どもからの支援で間に合わなければ行

佐々木和憲 監事 昭和の時代を残したレトロ風の骨董屋（和屋）を営む。地区センター長として地域の活性化のため、仲間と共に頑張っている。



政に相談するという段階を踏んでいただきましたね。

— 家庭や家族の在り方も再考する必要がありますね。

議会では毎年町長に対して政策提言を行っています。頂いた意見を参考にしながら政策実現に努力したいと思います。今日は多くの意見をいただきありがとうございました。

青木 健一 監事 銀行退職後、臨時で町商工会に勤務。それが地域を知る上で勉強になったという。「数字は嘘をつかない」がモットー。



シリーズ
広聴
町が大好き
2

こんな町になったらいいネ

子どもたちの未来のため支援を／自助・共助により持続可能な集落に

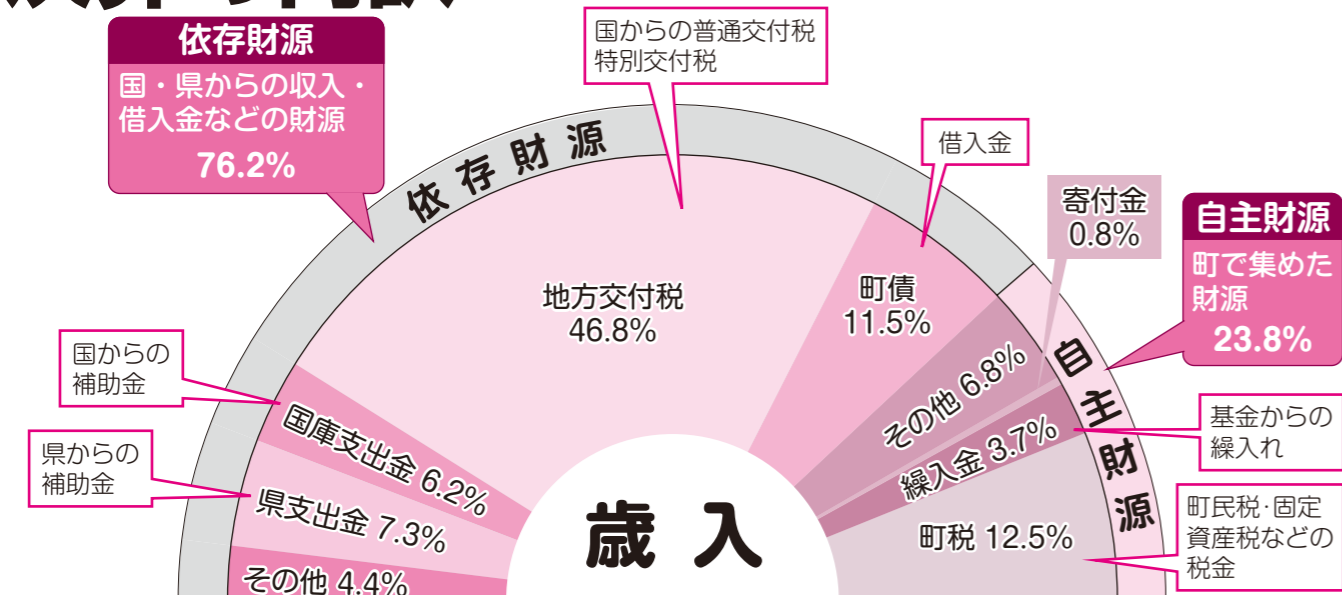
財政指標は「健全」と判断

と判断

平成29年度
決算を認定

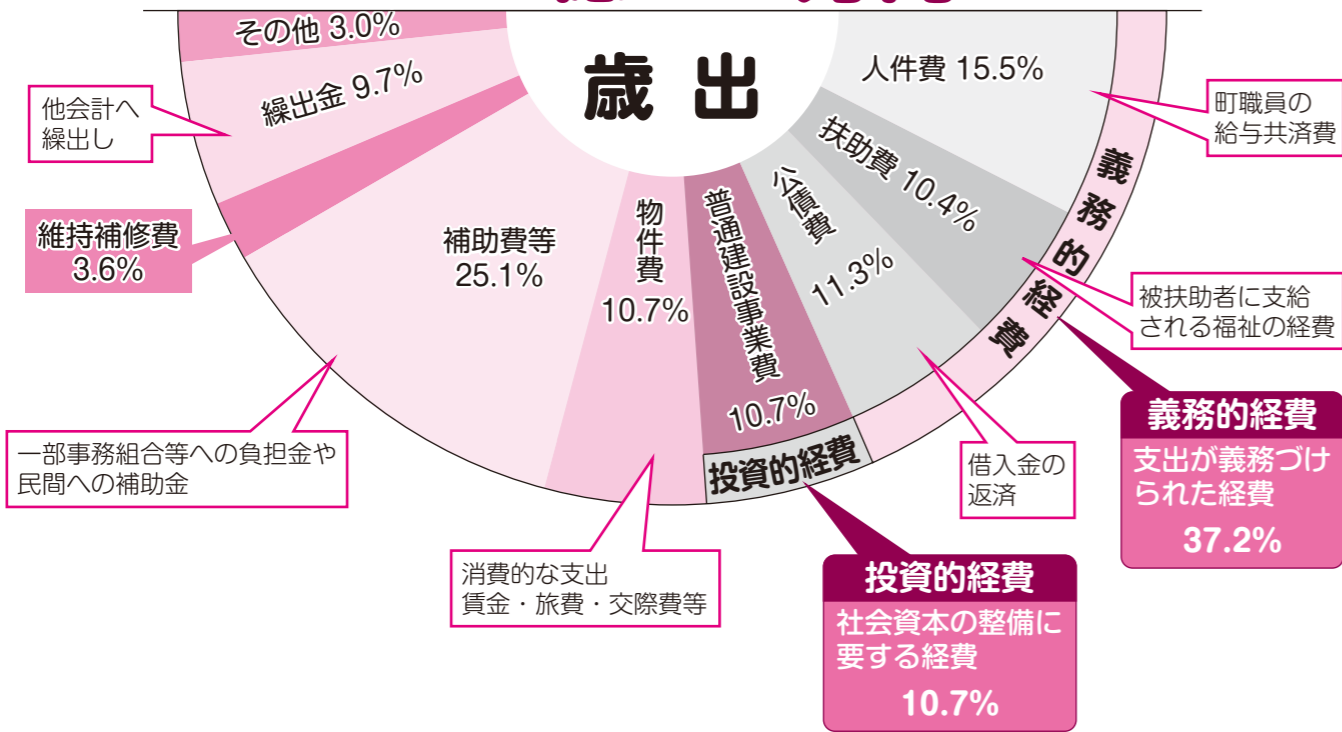
9月
定例会

決算の内訳



一般会計

107億817万円
105億469万円



平成29年度主な事業

- ①パークゴルフ場整備 4億3875万円
- ②新庁舎整備計画検討 529万円
- ③虚空蔵山西線道路改良 4247万円
- ④防犯灯LED化(リース料) 124万円

平成29年度決算の特徴は次のとおりである。

①単年度収支は2億348万円だが、財政調整基金へ119万円を積み立て、同基金からの取崩額1億5932万円を差し引いた実質単年度収支は1億7755万円の赤字となった。財政調整基金残高は4億7642万円となった。

②最大財源の地方交付税は、置賜広域病院組合分を差し引いた本町

純粋分36億2261万円、前年度比1076万円の増額となった。

③借入金残高は増加したが、財政健全化法に基づき財政指標(8ページ参照)は、国の指標をクリアしており、「健全」と判断。

④大規模な投資的事業により町債残高が増加し、その負担が大きなウエイトを占めている。

⑤庁舎建設基金に、4億1007万円を積み立てた。

⑥子育て支援の強化、パークゴルフ場整備に重点を置き、財政の健全化を第一義に事業の厳選を図った。

⑦財政規律を保ちつつ将来を見据えた財政計画の下、「川西未来ビジョン」(第5次総合計画)の基本目標として掲げた「夢と愛を未来につなぐまち」の実現を目指すとしている。

議会はさらなる財政健全化を求めている。

基金の残高

	財政調整基金	町債管理基金	庁舎建設基金
平成26年度	7億4044万円	2億6456万円	0
平成27年度	7億9562万円	2億6845万円	1億6000万円
平成28年度	6億3456万円	1億2226万円	3億1005万円
平成29年度	4億7642万円	2608万円	4億1007万円

議会注視 将来見据えた財政計画を

9月定例会のあらまし

9月定例会が、9月4日から21日までの18日間の会期で開催された。

第1日目に、人事1件に同意、財政健全化法にかかる報告2件の後、町道の廃止・認定4件、平成30年度会計補正予算6件を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会に付託した。

また、平成29年度会計決算認定7件を一括上程し、決算特別委員会に付託した。

第2、3日目に、6人の議員が一般質問を行い、災害対策等を取り上げ、町政をたじた。

第4日目を以降、常任委員会、予算特別委員会、決算特別委員会分科会を開催し、議案を審議した。

最終日に、人事1件を可決、付託した町道廃止・認定補正予算、決算認定を原案通り可決した後、財産取得、補正予算を可決し、請願1件を審議未了として、閉会した。なお、今期定例会の傍聴者は3人だった。

平成29年度各会計決算の議決状況

会計別	歳入	歳出	議決の内容
一般会計	107億817万円	105億469万円	全員賛成により認定
国民健康保険事業特別会計	19億8920万円	19億3822万円	全員賛成により認定
下水道事業特別会計	4億9936万円	4億9218万円	全員賛成により認定
農業集落排水事業特別会計	9063万円	8702万円	全員賛成により認定
介護保険事業特別会計	18億8091万円	18億3436万円	全員賛成により認定
後期高齢者医療特別会計	1億6807万円	1億6576万円	全員賛成により認定

水道事業会計	収益的※1	4億9520万円	4億7975万円	全員賛成により認定
	資本的	3085万円	1億8245万円※2	

※1 「収益的」収支は水道水給水の収入と支出。「資本的」収支は水道施設に係る収入と支出
 ※2 不足する1億5159万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補てんした。

決算 審議

借入金増加続く厳しさ

決算特別委員会は常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計を審議した。ここで
 決算特別委員会は常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計を審議した。ここで
 は総括質疑、分科会での質疑、町長に対する質疑を要約してお伝えする。



29年度整備された、パークゴルフ場および周辺外周コース

総括質疑

実質単年度収支赤字をどう捉える

鈴木

「実質単年度収支」は1億7千万円程の赤字で、基金の取り崩しを行っているが、2年続けての実質単年度収支の赤字をどう捉えているか。

鈴木清左衛門 議員

実質単年度収支が赤字の大きな要因としては、豪雪による除雪費の増加、また新庁舎建設に向け毎年1億円以上の積み立てを予定しているが、その財源を確保するため、結果的には財政調整基金の取り崩しを行った。今後も財政健全化に向け取り組んでいく。

道路要望活動の成果は

金子

①虚空蔵山西線の交付金の減額、②国道287号バイパスの進捗状況、③梨郷道路の供用開始時期はいつになるか。

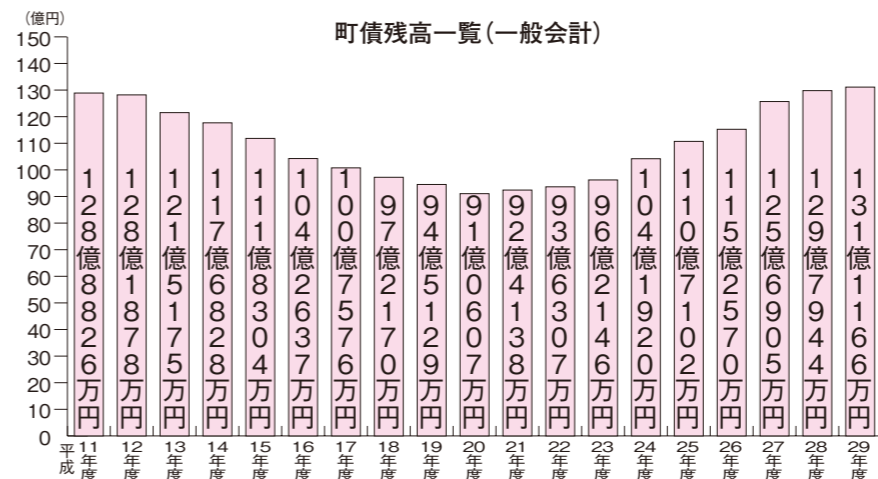
金子一郎 議員

町長 ①虚空蔵山西線は社会資本整備総合交付金事業として取り組んでいるが、新

規道路に対し交付金の付きが悪い。②287号バイパスはインターチェンジ関連の補助事業となり、事業の進捗が図られている。③梨郷道路は、南陽市1カ所の用地買収ができず、買収ができれば供用開始時期が明示される。

ここが知りたい

町債(借入金)の推移



監査意見

さらなる財政健全化を



代表監査委員 島貫 憲明 氏

一般会計

経常収支比率93・2%、財政力指数0・245、実質公債費比率11・9%となっている。地方財政は、社会保障関係経費の増加により、依然として厳しい財政環境が予想される。また、平成29年度発行町債は12億3千万円、年度末起債残高は131億円余りとなり、借

入金に係る公債費(償還金)は大きなウエイトを占めている。今後大規模な公共施設整備(新庁舎整備事業、メディアカルタウン整備事業)などにより、公債費の増加が想定される。さらなる財政健全化に努めるよう指摘した。

水道事業会計

給水人口の減少、配水管の老朽化による更新工事等、年々経営環境が悪化していくこと

が予想される。経費節減および収納率の向上、未収金対策を強化されたい。

財政指標	平成29年度川西町一般会計等健全化判断比率					
	実質赤字比率 一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合	連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合	実質公債費比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合	公営企業会計に係る 資金不足比率 資金不足の額が事業規模に占める割合	
川西町	0%	0%	11.9%	128.5%	0%	
国	早期健全	14.27%	19.27%	25.00%	350%	20.00%
	財政再建	20.00%	30.00%	35.00%	-	-

※標準財政規模 標準的な国税、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。平成29年度の本町標準財政規模は64億142万9千円。

自然災害に対応

消防団員確保対策の充実を

問 消防団員確保は
どうなっているか。

総務課長 条例定数630名に対し、581名の確保にとどまっている。

意見 積極的な団員確保のため、手当、報酬等の充実や事業所等の理解を得るため働きかけを強めること。

問 本町の障がい者
雇用の状況は。

総務課長 身体・精神障がい者手帳を確認して雇用し、厚生労働省の基準を満たしている。

問 各地区自主防災
組織の備品整備
は進んでいるか。

総務課長 各地区自主防災組織補助金は定

額補助で、地区により使途には違いがある。今後とも備品整備の充実を図る必要がある、継続して措置したい。

意見 さらなる充実を図ること。

問 定住移住促進事
業の空き家バンク
の成果は。

まちづくり課長 129件の相談を受け、16件の空き家登録があり、うち7件が成約となった。空き家対策としても有効であることから、移住支援の充実にも努めること。

意見 小松保育所施設
整備事業の状況

教育総務課長 子どもの安全を第一に緊急的に修繕が必要な箇所の整

備を行っている。老朽化に伴う改築については、財源等研究し計画的に進めること。

問 学区再編整備事
業はどのような
ものであったのか。

教育総務課長 高山小学校・東沢小学校の閉校に伴う通学用バス2台の購入整備のほか、2地区がおのおの主催する閉校記念祝賀会や記念誌製作費、記念碑整備に対する支援補助等の経費である。

問 小学校施設維持
管理事業の内容

教育総務課長 各小学校の維持管理に係る大規模修繕の設計委託料および施設の修繕工事費

である。施設の維持管理基準等のマニュアル整備が必要であり、施設の長寿命化に向けた計画的に維持管理を図ること。

問 川西町交流館
「あいばる」の利
用状況はどうか。

生涯学習課長 会議室利用者数は6258人、運動施設利用者数は6971人、宿泊者数は499人であった。今後とも利用者の増加を目指すこと。

問 下小松古墳群
の整備状況は。

生涯学習課長 「下小松古墳群を守る会」と連携・協力し案内板の設置等を行っている。文化財保護法による制限もあることから、散策道周辺の樹木伐採等が課題となっている。

意見 子宮頸がんワクチンについては、現在も法で定められた定期接種に位置付けられており、希望者は接種できるが、ワクチン接種後の副反応の問題から国としての積極的勧奨は控えている。

問 出荷者は164
人、出荷品目は
236品目を確保し、

安定した出荷体制が構築され、軌道に乗ってきている。

決算
審議



安心安全な町づくりに日々訓練

全国和牛能力共進会

次期大会に向け支援せよ

問 畜産共進会事業
の内容は。

産業振興課長 全国和牛能力共進会宮城大会をはじめとする各種共進会への出品支援を行った。

意見 次回開催（2022年）予定の鹿兒島大会に向けて支援を強化すること。

問 たまにわ堆肥セ
ンター管理運営
事業について問う。

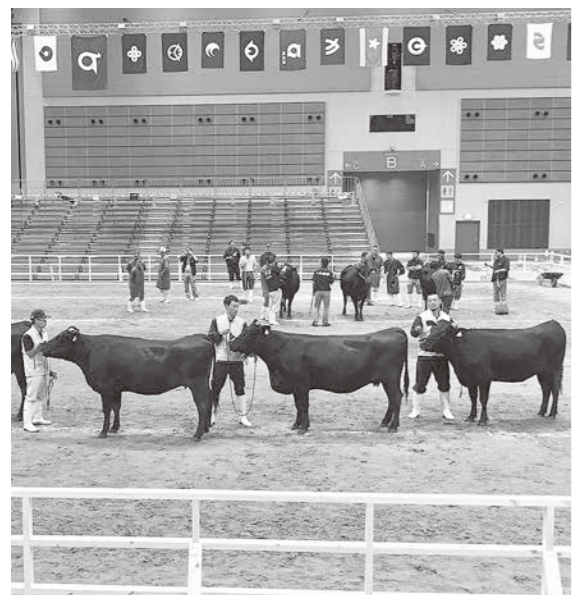
産業振興課長 暴風や雪害、耐用年数の経過などで劣化した布幕屋根の修繕を行った。

意見 公共施設等総合
管理計画に基づ
き、延命化を考慮した
修繕対応を図ること。

問 高齢者生きがい
事業の内容は。

健康福祉課長 老人クラブの活動促進に対し補助金を交付した。

意見 高齢者の生活態
様、趣味が多様
化している中、会員確
保を図るため、魅力あ
る活動になるよう支援
すること。



第11回全国和牛能力共進会 = 優良繁殖メス牛5頭群

健康福祉課長 食育推進計画の推進の柱の一つと位置付け、学校給食食材としての利用や町報を活用した献立の普及を行っている。

一般質問

ここが聞きたい!

6人の議員が一般質問

町政をただす

定例会第2日目、3日目に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問した。通告順（発言順）に掲載する。

14 ^P	淀 秀夫 議員 1 置賜定住自立圏とコンパクトシティについて 2 「コンパクト」シティ計画 3 総務省の定住自立圏と国土交通省のコンパクトシティについて
15 ^P	神村 建二 議員 1 ブロック塀について 2 子育て支援について
16 ^P	伊藤 寿郎 議員 1 ゲリラ豪雨対策について 2 農業担い手の現状と課題について 3 地域における働き方改革について
17 ^P	伊藤 進 議員 1 獣害対策について 2 高校整備再編計画について 3 水不足について 4 全日本中学生ホッケー選手権第3位 5 情報発信について
18 ^P	橋本 欣一 議員 1 小松地区の小規模河川・側溝・排水路の内水氾濫・浸水について 2 町内企業・事業所の事業継承について
19 ^P	鈴木清左衛門 議員 1 川西町のリノベーション2 2 観光へのいざない2 3 川西町の行政運営2

白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかった。その内容は、議会ホームページの録画中継によって見ることができる。

(http://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

一般質問とは

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。

町長に聞く

平成29年度の決算審議を踏まえて、特に政策的な事項を町長に聞いた。



万全な空き家対策が望まれる = 代執行による解体

空き家の有効活用と安全対策に万全を期せ

問 空き家の確保（しっかい）調査の結果および今後の対策と行政執行の費用負担について問う。

町長 空き家台帳は、平成21年12月および平成24年3月に自治会長へ調査を依頼し、整備した。状況変化の中で実態と合わなくなってきたため、平成30年2月に町内全域を対象とした悉皆調査を実施し、421戸の空き家を把握した。危険度

に依り「川西町空家対策計画」に基づき所有者への指導を図るとともに、利活用可能な空き家については、空き家バンクへの誘導を行う。

また、倒壊する恐れがあり、通行者の安全確保の観点から自治会の強い要請を受け、平成28年に上小松、平成29年に玉庭の空き家を行政代執行により除却した。代執行の経費の徴収については、それぞれ延滞金を含めて分納誓約を取っており、延滞金は執行経費完納後に額を決定し納付させる。

その他の危険空き家の状況は、相続放棄に係る4戸を把握している。危険が逼迫（ひつぱく）しているものについては応急措置の有

無も含め検討している。空き家所有者に対し適正な管理に努めるよう要請するとともに、利活用可能な空き家の有効利用に繋げることを。

観光施設の有効活用と誘客にさらなる努力を

問 観光誘客の事業の成果と課題を問う。

町長 ①ダリヤ園、ハーブ園について。

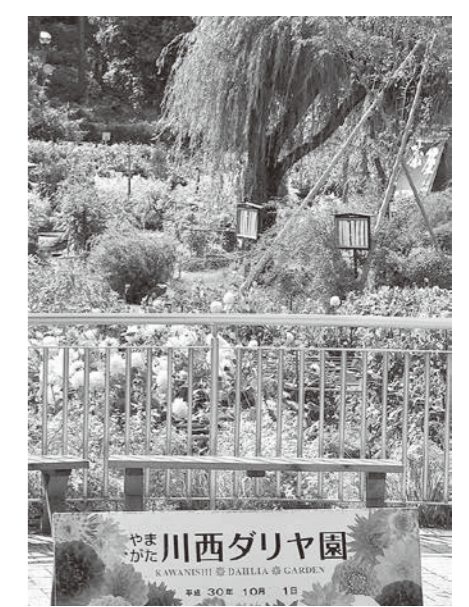
ダリヤ園の入場者数は昭和63年では3倍の6万人を超えるまでになっており、これまでのダリヤの普及を通じた誘客活動の成果といえる。また、ハーブ園はダリアシーズン前の来町者を迎える施設として、23日間で約7千人の入場者で

ある。両施設とも年々整備を充実してきたが、誘客やイベント等の取り組みに課題があると認識している。

外国人が好むメニューの開発を重点に体験メニューづくりや人材育成、多言語パンフレット、案内板等の整備を行い、受け入れ体制づくりを進める。

町長 ②かわにし森のマルシエとの連携は。道路案内マップの配布、ダリア球根販売やダリア栽培講習会の開催場所にするなど連携した事業に取り組み、町内への誘客を行っている。一方、冬期間の誘客が課題であり関係施設と連携し合同事業の展開や知名

各施設との連携を図りイベントを充実するとともに、積極的に情報を発信し誘客に努めること。



さらなる発展をめざし = ダリヤ園

*インバウンド 外国人が訪れてくる旅行のこと

一般質問

置賜定住自立圏

定住自立圏とコンパクトシティへの対応は 町長ー安心して暮らせる地域形成をめざす



淀 秀夫 議員

淀 総務省が推進する「置賜定住自立圏」と、国土交通省による「コンパクトシティ都市計画」が自治体にとって大きな課題となっている。町民にとっては分りにくい町長の対応と進捗（しんちよく）状況は。

淀 各自治体の課題を行政に生かす「置賜定住自立圏」構想には、5年間米沢市に8500万円、川西市を含む2市5町にそれぞれ1500万円の特別交付税が交付されることになっている。

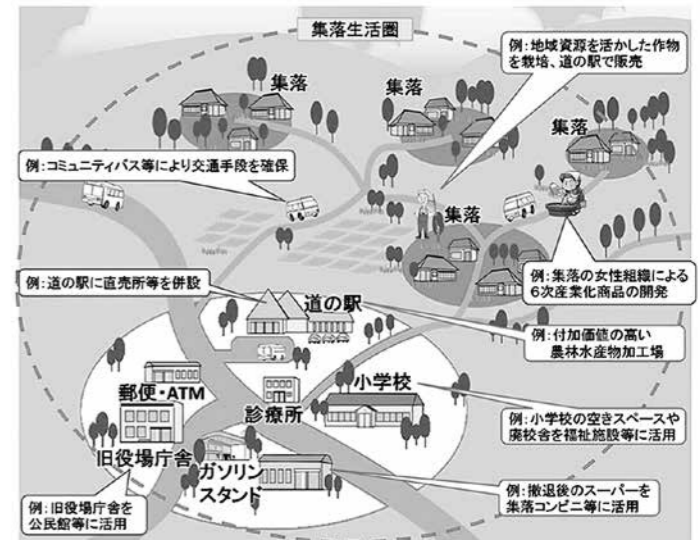
町長 広域合併は地域の将来にとって重要な案件だ、長期的な視点に立って検討する必要はある。

町長 本町は地区交流センターを核に地域づくりを進めている。町内の隅々まで行き届く行政サービスと、将来の負担軽減を今後とも検討していく。

淀 「定住自立圏」と「コンパクトシティ」は似たような構想に思える。人口激減と地方財政悪化が国の地方自治体政策として背景にあるようだ。「置賜定住自立圏」構想には賛成するつもりだが、コンパクトなまちづくりには、恵まれた自然を愛する人たちが長年住み慣れた土地を離れたくない人も多

町長 人口減少は置賜全域の課題である。多くの住民の声を聞き、町づくりを推進していきたい。

淀 先細りする川西市を含め、地方自治体の将来も不安だ。国も心配している。



町長 「定住自立圏」については、近隣市町村で必要な生活機能を確認し、連携、協力で活性化を図る。

町長 町有施設については、8施設18カ所について行い、その結果、川西診療所敷地内のブロック塀が基準を満たしていないこと、および旧東沢小学校のブロック塀が経年劣化していることが判明したので、補正予算を組んで撤去する。

町長 なお、民間のブロック塀については全町的な調査を実施していきたい。

町長 教育委員会では6月19日小中学校、町立幼児施設、子育て支援センターについて現地点検を行った。

町長 町内の私立の認定子ども園1カ所、保育所2カ所、小規模事業所1カ所において処遇改善が行われている。平成29年度の

町長 「国の基準を越える子育て支援助成・援助について」質問した。

町長 「国の基準を越える子育て支援助成・援助について」質問した。

災害対策

危険なブロック塀はないか

町長ー町有施設2カ所あるが撤去する

神村 去る6月18日大阪府北部を震源とする震度6の地震により、朝登校中の小学校4年の女児がブロック塀の下敷きになって亡くなった。

町長 町有施設について6月下旬に一点検を行った。8施設18カ所について行い、その結果、川西診療所敷地内のブロック塀が基準を満たしていないこと、および旧東沢小学校のブロック塀が経年劣化していることが判明したので、補正予算を組んで撤去する。

町長 2015年度に施行された子ども・子育て支援新制度は、全ての子どもが健康やかに成長できる社会の実現を目指すとしている。

町長 実績は合計1665万8千円となっている。公立の幼児施設においては、今年度から保育助手の賃金単価の引き上げを行い、処遇の改善を行った。

町長 子育てする家庭が安心して子どもを育てられるように最大限支援することを望む。

町長 「国の基準を越える子育て支援助成・援助について」質問した。

神村 18人がブロック塀の倒壊で犠牲になった1978年の宮城県沖地震を受け、建築基準法が改正されブロック塀の基準が制定された。しかし、古いブロック塀はいまだに残り2年前の熊本地震でも死者が出ている。

神村 本町の実態はどうなのか、学校、公共施設、民間施設の状況について問う。

神村 危険なものを放置して災害が起きることのないように、対応をしていくことを望む。

神村 子育てする家庭が安心して子どもを育てられるように最大限支援することを望む。

神村 「国の基準を越える子育て支援助成・援助について」質問した。

神村 「国の基準を越える子育て支援助成・援助について」質問した。



神村建二 議員



ブロック塀のある通学路を登校する児童 = 上小松地内

豪雨対策

ゲリラ豪雨対策は大丈夫か

町長―国県と連携し万全を期す



伊藤寿郎 議員

のため今後も防災訓練の実施等をはじめ、災害時に対応する準備を進めていく。

伊藤 浄化槽等が水に漬かった場合の対応は。

町長 復旧対応は基本的に個人で対応していただくことになり。ただし、それぞれの復旧作業は危険が伴うことや専門的知識が必要となるので、契約している浄化槽の定期点検や保守を行って業者者に連絡をして対応する。

町長 連絡する業者が分からない場合は、避難所に設置の相談所や担当窓口で知らせていく。

伊藤 役所の窓口、手続きの方法などが、被災住民に迅速にわかりやすく手続きができる体制であるか。

模な災害が発生した場合には、災害状況に応じて役場のほか地区交流センターや避難所に相談所を設置する。ただし、大規模災害の場合、職員が被災者となるため町業務継続計画に基づき対応することとなる。

農業担い手の現状と課題は

伊藤 本町の新規就農者の現状は。

町長 新規就農者数は過去5年間平均で5人程度、平成26年から認定新規就農者は10人を数えており、現在も2人の相談対応を行っている。就職相談段階から実現可能な就農計画の作成指導に当たっている。

その他 地域における働き方改革について質問した。

町長 西日本豪雨や最上地方豪雨など、予想外の記録的豪雨や天災が日本各地で発生している。本町におけるゲリラ豪雨をはじめとする水害対策は大丈夫か。また、住民への周知について問う。

町長 災害時における事前対応として、川西町洪水避難地図（ハザードマップ）を全戸配布し、ホームページ等での周知を行っている。

伊藤 被害範囲拡大は対策が追いつかないのか。

町長 サルとイノシシは絶えず移動を繰り返すため、被害範囲が拡大しているのも事実だ。

伊藤 予算減額での活動実態はどうか。

町長 町の予算は減額交付金は町会計を経ず直接協議会が受けている。

町長 町では国からの交付金を活用して、効果的な活動を実施している。

町長 一市町村のみなならず広域的な課題である。県町村会として県に



電気柵設置講習会 = 東沢地区

町長 山の荒廃が、生息動物の食糧激減の要因の一つだと思う。山から下りてこない工夫が必要と考えるが、県に提案をされたことがあるか。

伊藤 重要案件として町の見解はどうか。

町長 重要案件として認識している。今後も県や猟友会と連携し、安全確保に努めていきたい。

町長 重要案件として認識している。今後も県や猟友会と連携し、安全確保に努めていきたい。

伊藤 7月に「東南置賜」として望ましい高校再編整備について」の報告書が、東南置賜地区の県立高校の再編整備に係る検討

伊藤 北海道遠別町の「遠別農業高等学校」を紹介した。

獣害も重要案件として対策を

町長―県や猟友会と連携し安全に努める

伊藤 獣被害状況と対策、研修の進捗状況は。

町長 中山間部を中心とした自家野菜の被害が多い。緩衝帯4・2ha整備、6人に電気柵設置補助、2人に新規狩猟免許取得経費補助、ねらわれる柿栗の木の伐採、県の支援で電気柵設置研修、実証圃場での電気柵効果検証、サル目撃を集約した出没マップの作成などを行った。

伊藤 被害範囲拡大は対策が追いつかないのか。

町長 サルとイノシシは絶えず移動を繰り返すため、被害範囲が拡大しているのも事実だ。

伊藤 予算減額での活動実態はどうか。

町長 町の予算は減額交付金は町会計を経ず直接協議会が受けている。

町長 町では国からの交付金を活用して、効果的な活動を実施している。



伊藤進 議員

一般質問

自然災害

小松地区内の排水対策は

町長 — 現状では特に問題ないが万全を期したい



橋本欣一 議員



美女木地区、庁舎予定地の排水は万全か

水については白川土地改良区・小松右岸維持管理組合の承諾を得て事業を進めている。

中小企業などの事業継承の支援は

術の伝承が困難となってきた。事業継承の支援策を強化すべきでは。

町長 商工会と連携して事業継承セミナーなどを行い、スムーズな継承の支援を行っている。ただ、事業継承は複雑な要因が絡みデリケートな問題であり、状況把握が難しい面がある。

橋本 線状降水帯の停滞などにより全国各地でゲリラ豪雨の被害が広がっている。上小松では羽越水害以来、水害は起こっていない。しかし、ゲリラ豪雨によって中小河川や側溝からの浸水が予想される。小松地区では、萩野・天神・中小松各堀が重要な排水路となっている。管理状況はどうなっているか。

町長 3水路とも一定の整備がなされている。土砂等の堆積物の撤去や破損箇所の修繕は優先順位を決めて計画的に行っている。最下流の犬川、穴塚川は落差があるため、排水には問題ない。

町長 地元自治会に協力いただきながら管理している。現状では町民の皆さんの理解と協力で進めていきたい。

排水路に排水されるが、JA敷地面積の拡大と新庁舎建設で雨水排水量が増え、犬川排水口近辺では水田冠水の可能性があるがどうか。

橋本 数年前、美女木地区のゲリラ豪雨で排水が追いつかず、部分的に水が溢れたと聞いた。

町長 美女木地区の排水は町道小松駅東線を横断してJA南側の農業用

町長 美女木地区を開ア内の雨水排水等計画を作成し、基準に従ったもので良好に排水されている。新庁舎の排

排水する必要はないか。

町長 発する際、エリア内の雨水排水等計画を作成し、基準に従ったもので良好に排水されている。新庁舎の排

橋本 身近な側溝の管理はどうか、高齢化などで清掃ができなくなってきたと聞かされた。

町長 側溝の清掃は町民の皆さんにお願いしている。現状では町民の皆さんの理解と協力で進めていきたい。

町長 側溝の清掃は町民の皆さんにお願いしている。現状では町民の皆さんの理解と協力で進めていきたい。

町長 側溝の清掃は町民の皆さんにお願いしている。現状では町民の皆さんの理解と協力で進めていきたい。

橋本 調査では、町内には658の事業所があり、従業員数は4783人とある。年々減少傾向にあり、特に小売・飲食・サービス業分野で、家族経営主体の小規模事業所は事業継承が困難で事業縮小や廃業が増えてきている。建築分野では、高齢化、後継者不足で技

町長 町内には誇れる商品があり、高い技術を持った方がおられる。技術や技能の伝承・継承も含めた質の高い事業継承策も検討していきたい。

鈴木 置賜定住自立圏構想について、6月29日に置賜定住自立圏形成協定締結が行われ、米沢市を中心市とし川西町は周辺町となったが、中心市である米沢市とは対等であるのか。

町長 お互いの立場がそれぞれあり、機能をそれぞれ有している所以对等な立場である。

町長 例で率先して称号を贈られるべきではないか。

町長 愛知大学の分校研究所について

は現在白紙である。愛知大学にもいろいろ考えたの先生がいるのでウインウインの関係を築けるように信頼関係を構築したい。

は実質的に受けることはできないことから、顕彰のタイミングは十二分に考慮しなければならぬ。また、適用基準については統一した尺度を設けていないことから、多くの声を聴き、慎重に検討していく。

その他 「地域活性化の質問 推進会議について」
「観光へのいざない」
2 ①インパウンドの受け入れ ②新しいDMO ③古墳の活用
「川西町の行政運営 2」①まちづくり基本条例について質問した。

定住自立圏 中心市と対等か

町長 — 対等な立場である

鈴木 玉庭のまちなみと名譽町民について、愛知大学と交流の中で、交流人口の拡大と教育の振興などの

町長 玉庭のまちなみと名譽町民について、愛知大学と交流の中で、交流人口の拡大と教育の振興などの

町長 玉庭のまちなみと名譽町民について、愛知大学と交流の中で、交流人口の拡大と教育の振興などの

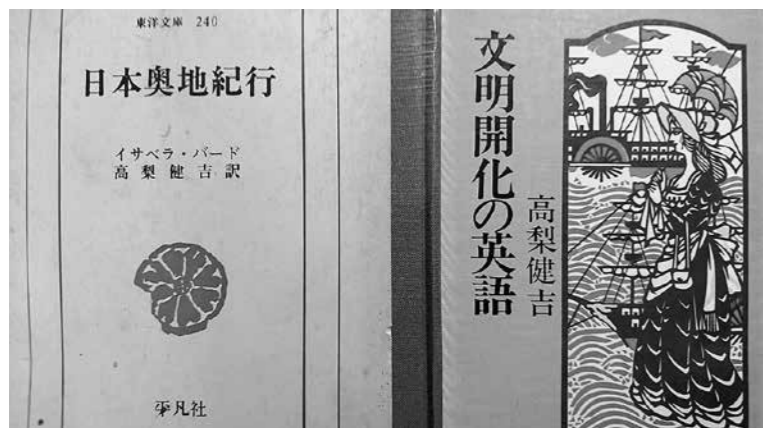
鈴木 玉庭のまちなみと名譽町民について、愛知大学と交流の中で、交流人口の拡大と教育の振興などの

町長 玉庭のまちなみと名譽町民について、愛知大学と交流の中で、交流人口の拡大と教育の振興などの

町長 玉庭のまちなみと名譽町民について、愛知大学と交流の中で、交流人口の拡大と教育の振興などの



鈴木清左衛門 議員



英語の世界を日本中に広めた高梨健吉先生の著書

補正 予算

新庁舎敷地造成を繰越明許

平成30年度各会計補正予算6件が予算委員会にて審議された。最終日には追加の一般会計補正予算が提案され、新庁舎造成工事の繰越明許が可決された。

新庁舎予定地の用地を取得したことにより、敷地の造成工事がいよいよ始まる。造成面積1万1454㎡、L型擁壁工・延長211m、水路工・延長403m、進入路4カ所の工事となる。

返礼品に新聞電子版

川西町を応援したいという想いを、ふるさと寄付金としてお寄せ頂いている。県外寄付者のかたがたに、訪れなくなる、あるいは住んでみたくならない、町の紹介をするため、インターネットを利用した電子版の地方紙を活用することとした。

6月18日に大阪北部を震源とする地震により登校中の児童がブロック塀の下敷きになるという痛ましい事故が発生した。町有施設のブロック塀撤去

平成30年度 各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第3号)	102億7819万円 (8002万円を追加)	全員賛成により可決
一般会計(第4号)	102億7869万円 (50万円を追加)	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計(第1号)	16億9681万円 (4698万円を追加)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第1号)	5億2329万円 (210万円を追加)	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計(第1号)	9249万円 (356万円を追加)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第2号)	19億1722万円 (4654万円を追加)	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計(第1号)	1億7171万円 (262万円を追加)	全員賛成により可決

一般会計補正予算(第3・4号)の主な内容

(歳出)	
広域病院運営事業 負担金	▲4099万円
冬季交通確保事業 機械修繕・除雪費	4500万円
園芸大国やまがた産地育成支援事業 補助金	▲3536万円
中山間地域所得向上支援対策事業 補助金	2270万円
旧校舎施設維持管理事業 工事費	138万円
農業競争力強化基盤整備事業	2120万円
庁舎建設基金管理事業 積立金	5000万円
(4号) フレンドリープラザ管理運営経費	50万円
(歳入)	
地方交付税	5025万円
園芸大国やまがた産地育成支援事業県補助金	▲2940万円
中山間地域所得向上支援対策事業費県補助金	2270万円
財政調整基金繰入金	▲8284万円
前年繰越金	8342万円
置賜広域病院企業団過年度清算金	1319万円
農業生産基盤整備事業債	2120万円
(4号)フレンドリープラザ施設整備事業債	50万円

多くの県外からの寄付者の皆さんに「川西ファン」になっていた。そのため「山形新聞電子版」を返礼品に追加した。

財 産 得 取

新庁舎 用地を取得

定例会最終日に新庁舎予定地の取得についての議案が追加上程された。

当該土地は、J A山形おきたま本店南側の2筆である。不動産鑑定評価が実



新庁舎建設用地

定例会最終日に新庁舎予定地の取得についての議案が追加上程された。当該土地は、J A山形おきたま本店南側の2筆である。不動産鑑定評価が実

全員賛成により可決 (欠席2人)

移住定住者に 食の支援

県では、若者の定着・ふるさと回帰を進めるため、県内の各市町村や農業協同組合等と連携し、移住定住の支援策を展開している。本町においても、県等と連携し、移住された世帯に対して、米・味噌・醤油を支援する事業を行う。

除雪費増額 1億2千万円に

昨年の豪雪での除雪費用は、2億9000万円であった。本年度当初予算で8000万円を計上していたが、4000万円を追加補正し、1億2000万円とする。さらに除雪機械の修繕に500万円を計上し、万全の体制で冬季交通確保事業に当たる。

全員賛成により可決

主な質疑

- 問** 財政調整基金は国の指針を保持しているか。
答 財政調整基金は、昨年度の除雪費の増、庁舎建設基金の積み立てにより財調基金への積み立てができなかった。
- 意** 国の指針による本町の標準財政規模の5%は保持していくこと。
- 問** 防災対策事業委託料の内容は。
答 新庁舎建設予定地において、同報系防災行政無線の電波が新たな基地局から子局へ伝わるかの調査委託料である。
- 問** 健康福祉センター運営事業の内訳は。
答 旧町立病院敷地内のブロック塀が建設基準法施行令の基準を満たしていないので、撤去する経費である。
- 意** 町有除雪機械について、運行前運転中及び作業終了後の点検を確実に、不具合の早期発見に努め、重大な修繕に至らないようにすること。
- 問** 園芸大国やまがた産地育成、産地パワーアップ、中山間地域所得向上の各事業の増額・減額の内容は。
答 県の内報による事業の確定、他採択及び追加希望調査の結果を反映して今回の増額、減額の補正となったもの。
- 問** 冬季交通確保事業の増額理由は。
答 委託料については、平年ベースの算定による増額である。

※繰越明許 年度内に予定していた事業が終わらず、予算を次年度に繰越して事業を完成させること。議会の承認が必要。

人事

副町長の再任に同意

山口俊昭副町長が9月30日で任期満了のため提案され同意した。



●山口俊昭
(再任) 中小松

- ・昭和52年4月 川西町職員採用
- ・平成26年3月退職
- ・平成26年10月 副町長就任

全員賛成により同意

教育委員の任命に同意

斎藤聡子教育委員が9月30日で任期満了のため提案され同意した。



●斎藤聡子
(再任) 上小松

- ・平成26年10月 川西町教育委員就任

全員賛成により同意

請願

このように審査しました

請願名	請願者・紹介議員	主な内容	所管	審査結果	本会議
・ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業の維持・確保を求める請願。	一般社団法人山形県ハイヤー協会 会長 石川 康夫 全国自動車交通労働組合連合会 山形地方本部 執行委員長 遠藤 栄二 紹介議員 齊藤 智志	国において、次の事項について適切な措置を講じられるよう強く要望する。 1、「ライドシェア」は、利用者の安全・安心に極めて大きな懸念のある業態であり、その容認を行わないこと。 2、地域において大きな役割を担っているタクシーはもとより、バスや鉄道を含めた地域公共交通維持・発展に向けた総合的な諸施策を講ずること。	総務文教常任委員会	審査未了	継続

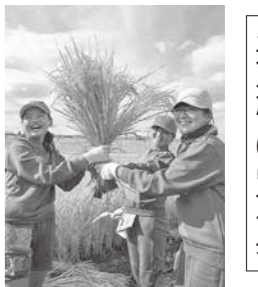
9月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
議員名	伊藤 寿郎	伊藤 進	鈴木 幸廣	鈴木清左衛門	神村 建二	橋本 欣一	齊藤 智志		淀 秀夫	齋藤 修一	高梨 勇吉	金子 一郎	佐々木賢一	遠藤 章一	加藤 俊一
議第67号 土地取得について	-	○	○	○	-	○	○		○	○	○	○	○	○	

町提出案件21件、議員発議4件、請願審査1件は継続。
○は賛成、×は反対、-は欠席 議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。

表紙の写真



美味しい川西米が一番
夏の干ばつが一転して長雨になり、稲刈りもなかなか進まない。今日は、みんなで田植えをした「はえぬき」の稲刈り。毎日のように降る雨に、稲を刈るにも一苦労。ぬかるみに足を取られながらも、一株一株丁寧に刈り取る。
作業は天候に左右されるが、収穫の喜びは格別。まして自分たちで植えたからなお力が入る。
毎日食べる美味しい米は元気の源。雨にも負けず、風にも負けず、夏の暑さにも負けない体は、川西米が一番。
(写真・大塚小学校5年生)

※ライドシェア 運転者と相乗りする人を引き合わせるサービス。運転者に報酬は支払われないが、相乗りする人はガソリン代等の実費を負担する。

臨時会

第3回臨時会 8月10日

第3回臨時会が開かれ、平成30年度補正予算が提案され原案どおり可決された。



高齢者安全運転に向けて＝玉庭地区交通安全運転講習会

免許証自主返納 予定上回る

当初40件と見込んでいたが、返納者が現在まで月平均6・5件で予算不足の事態となることが判明したため、返納者に対する報償物品費として増額補正するものである。

増額分 104万円。
旧校舎施設維持管理事業 旧高山小学校において給水設備不良により、体育館使用時に上下水道が利用できなくなっていた。災害時の指定避難施設にもなっていることから水道管付け替え工事を行う。

工事予算額 27万円。
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 県の補助事業に採択されたことを受け、繁殖牛舎1棟、資材庫1棟分の増額補正をするものである。増額分2500万4千円。

以上の補正予算が提案された。
全員賛成により可決

議長交際費(議会活性化の一環として公開)

平成30年4月から平成30年9月まで

月	件数	金額	内容	月	件数	金額	内容
4月	2	10,000	町消防団幹部歓迎会他1件	8月	1	5,000	ダリヤ園開園式招待者交流会
5月	7	65,002	東京川西会他6件	9月	1	10,000	こうすく地区経営体育成基盤整備事業竣工祝賀会
6月	2	14,000	町観光協会総会他1件	上半期合計		151,002	
7月	2	47,000	置賜3市5町議会連絡協議会定例総会他1件				

広報モニターから ひとこと⑥

犬川 佐藤真理子 さん



傍聴の大切さ
空梅雨から始まり、夏の猛暑と自然の猛威による天災に驚きました。それより自分が議会の広報モニターを依頼されたことの方が驚きでした。
声をかけていただき、減多に入ることのない

議場へ足を運びました。議員のかたがたは私たち町民の声を町政に届けてくれる大切なパイプです。したがって定例議会の時間は、有意義な質疑応答の場、と思います。
我が町にも高齢化・人口減少という波がくる中、今後いかに若者層、夫婦層を増やしていくかに知恵を絞っていただきたいと思えます。
また、定住自立圏についても、前回の議会だよりに掲載されましたが、町民のかたがたは理解しているのでしょうか。私たちが直面している医療、消防など問題は山積みしています。私たちの小さな声にも耳を傾け、吸い上げていただけたらうれしいですね。
今後とも、広報編集

ここが違う
川西町 議会改革

今後の掲載予定

第1回	予算特別委員会の常設化
第2回	政策提言と検証評価
第3回	政務活動費の領収書公開
第4回	情報の公開
第5回	議員定数
第6回	議会基本条例
第7回	条例の議員発議
第8回	通年議会

第7回

条例の議員発議

ここが違う川西町議会
シリーズ
議会改革

議員発議で乾杯条例

第1次分権改革（平成12年4月）以降、議員提案政策条例の制定数は増加傾向にあるが、首長提案のそれと比較した場合、制定数はまだまだ少ないと言わざるを得ない。

国は三権分立により、国会に立法権が付与されている。地方自治は二元代表制がとられ、立法権に当たる条例制定が議会の役割とされているが、執行部の提案する条例が大半を占め、議員提案の政策条例（議員提案条例のうち議会や議員に関わる条例を除いた、住民の暮らしに直接かかわる政策的な行政関係条例）制定はわずかである。ある調査によれば議

会68%が議員提案の政策条例制定を行った経験がない。地方自治法112条は、予算を除いて「普通地方公共団体の議員は、議会の議決すべき事件につき、議案を提出することができる」と定めている。提案するには、定数の12分の1以上の議員の賛成が必要である。近年議会改革の一環として、議員による政策条例の提案が行われるようになった。本町

において平成26年3月定例会で「地酒による乾杯を推進する条例」を制定している。

読書推進条例の制定へ

議会の政策立案能力を示す指標として「条例制定件数」が取り上げられることが多く、そのため他議会の模倣や追従が行われているという指摘がある。特に留意すべき点は、条例制定に予算が伴う場合の執行部との調整

である。予算調整権は首長に専属するため、事前の作業が不可欠となる。本町では総務文教常任委員会「読書推進条例（仮称）」の制定が検討されている。読書推進条例が議員発議で制定されれば、全国で初めてである。作家故井上ひさし先生からすべての蔵書を寄贈いただいた、川西町にふさわしい条例にしたい。



暑い時は冷で、寒い時は熱燗で、地酒で乾杯

産業厚生常任委員会



新品種育種等の状況視察＝秋田国際ダリア園

委員会
レポート

総務文教常任委員会



宿泊体験で昼食は「うどん打ち」＝くまの木

交流人口増
創意工夫を重ね発展

7月17～18日、秋田市でダリア園運営、仙北市で観光振興における交流人口増加について先進地視察を行った。

創設者の意思を引き継ぎ、発展

秋田市国際ダリア園面積は1・2ha。約1250品種、7千株、7万本。雄和町で始まった「秋田国際ダリア園」、

合併で秋田市のダリア園となっても、育種を続けながら世界に存在を発信し続ける。2代目園長が創業者の意思を引き継ぎ、発展していることがうかがえた。

仙北市 トップのかじ取りが大事

規制緩和により、日帰り農業体験を提供していた農家が民宿を開業。

平成24年仙北市初のインバンドで、台湾からの教育旅行を迎えた。

27年国家戦略特区（地方創生）に指定。29年度旅行業取扱資格者の有資格者を確保。30年度旅行業の事業を開始。

こうした取り組みは、トップによる創意工夫のあるかじ取りの影響が全てであるという。

旧校舎 素早く
利活用計画を実施

8月7～8日、栃木県塩谷町及び栃木市で、廃校舎利活用及び庁舎移転に伴う跡地利活用の先進地視察を行った。特に感じたのは、地域住民の意見を聴取し、検討委員会を素早く立ち上げ、利活用に向けた計画を実施していたこと。

塩谷町 星ふる学校くまの木

平成11年2月、跡地利活用検討委員会設置。3月、町立熊ノ木小学校が廃校となる。この後旧熊ノ木小学校運営委員会設置。14年4月26日「星ふる学校くまの木」がオープン。「特定非営利法人くまの木里の暮らし」が施設管理運営。

栃木市 地方都市リノベーション事業に合致

旧庁舎は昭和35年に建設。老朽化・狭あい化と耐震性の問題があった。平成22年12月同市百貨店より店舗の無償譲渡の申し入れ。24年3月に店舗を利活用し、新庁舎にすることを決定。

跡地利用に当たっては、国の交付金事業である「地方都市リノベーション事業」目的に合致。

こんな質問・要望がありました(抜粋) ※<http://www.town.kawanishi.yamagata.jp> 議会ホームページで公開されます

地区	月日	会場	参加者	議員 (先頭が班長)
犬川	8月20日	犬川地区交流センター	10人	遠藤 章一、金子 一郎、齊藤 修一、高梨 勇吉、神村 建二、鈴木 幸廣
玉庭	8月20日	玉庭地区交流センター	14人	加藤 俊一、佐々木賢一、淀 秀夫、齊藤 智志、橋本 欣一、鈴木清左衛門、伊藤 進、伊藤 寿郎
東沢	8月21日	東沢活性化センター	13人	遠藤 章一、金子 一郎、齊藤 修一、高梨 勇吉、神村 建二、鈴木 幸廣
吉島	8月21日	吉島地区交流センター	16人	加藤 俊一、佐々木賢一、淀 秀夫、齊藤 智志、橋本 欣一、鈴木清左衛門、伊藤 進、伊藤 寿郎

	質疑、要望、意見	質疑等への回答・今後の対応
1	<p>1、新庁舎建設について</p> <p>建設コスト等</p> <p>○冷暖房はどうなっているか。</p> <p>○ランニングコストの低減工夫がなされているか。</p> <p>○庁舎建設により、生活基盤の整備に影響はないか。</p> <p>○庁舎は機能性を重視し、職員が働きやすいワークライフバランスを考えるべきである。デザイン重視ではない。備品などもリユースできるものがあれば使用する。今から備品台帳を整理すべきである。</p> <p>○防災時には発電機を使用するとしているが、庁舎の何%を賄えるのか。</p> <p>喫煙</p> <p>○喫煙場所を設置してほしい。</p> <p>○優先パーキングエリアを増やしたらどうか。</p> <p>○優先駐車場に雨よげが必要ではないか。</p>	<p>未来創造室 冷暖房は、床ふく射冷暖房方式、電気室空冷ヒートポンプ、ガスヒートポンプを採用し、それぞれのシステムの特性を最大限生かした方式を計画している。</p> <p>未来創造室 建築仕様、冷暖房、照明等すべての分野について、コストが低減できる機械、設備等を採用する。</p> <p>●影響がないよう求めていく。議会でもチェックしていく。</p> <p>●具体的にはまだ検討されていない、貴重な意見であり、今後検討しなければならない。</p> <p>未来創造室 非常用発電機は、燃料補充なしに必要な電源を72時間供給可能としている。</p> <p>未来創造室 喫煙スペースについては、健康増進法の趣旨を踏まえて、実施設計において検討する。法では役場庁舎は敷地内禁煙とされているが、屋外に受動喫煙が防止された措置をとれば設置できるとしている。</p> <p>●意見として承った。</p> <p>未来創造室 雨よげを設置する計画である。</p>
2	<p>2、かわにし森のマルシェについて</p> <p>○経理ができる職員育成ができていないか。人材育成が必要である。</p> <p>○一つの提案として、買物弱者への生活支援策として移動販売を行ったらどうか。またふるさと納税を一括取り扱いは今後の検討課題であり、会社に伝える。</p> <p>○指定管理の年限は、経営者が変われば内容も変わるだろう。</p> <p>○生産者が意見を言う場所がない。</p> <p>○特産といえるむくり鮎の売れ行きが落ちている。販売対策や後継者対策はどうか。</p> <p>○「雪板」の製造、販売をしている。森林資源の活用に最適ではないか。</p> <p>○営業開始から3年目であり、そう簡単に黒字経営にはならない。育てていくことが大事である。生産者・出品者の体制も重要である。経営者についても考えなければならない。</p> <p>○年間売上高のうち、6次産業化の成果はどれくらいか。</p>	<p>●職員の育成は必要である。</p> <p>産業振興課 経理は、税理士に委託している。</p> <p>産業振興課 診療所への出張販売を計画している。移動販売、ふるさと納税産品の一括取り扱いは今後の検討課題であり、会社に伝える。</p> <p>●指定管理は3年間。町財政からの支出も見て精査が必要。</p> <p>●生産者は約170人いるが、出荷者協議会の話が進展しないている。</p> <p>●6次産業化拠点施設として、目玉商品を作りたいと思っている。</p> <p>●提案していく。</p> <p>●委託販売で商品が売れ残れば生産者が引き取るシステムだが、作ってほしいと頼んでいる以上は、責任を持って買い取る方式等も検討する必要がある。</p> <p>産業振興課 6次産業化支援事業補助金を受け商品化されたもので、マルシェで販売しているものは、H28で15件約1370万円、H29で18件(継続が15件、新規3件)1240万円となっている。マルシェ委託販売額の20%弱を占めている。</p>
3	<p>3、その他</p> <p>○380haの町有林が放置されているのではないかと。かつて玉庭小学校建設のときには町有林の木を売って学校を建設した。間伐材を使う仕組みを作れないか。森林の有効活用を促したい。</p> <p>○サル被害がひどい。小学校の登下校が保護者の送迎となった。この場合スクールバスの利用ができないか。</p> <p>○小中学校の運動着はどこで決めているのか。価格が高すぎる。</p> <p>○高校通学の交通が不便。親が送迎するとなると選択肢が限られてくる。子どもが安心して通学できる定住対策はないか。</p>	<p>●木材価格の低迷で森林資源が利用されていない。玉庭地区で里山再生事業に取り組んで頂いている。町有林の経営は経営計画協議会により協議されており、事業は森林組合に委託されている。間伐材の利用等は今後の課題である。</p> <p>●サル被害対策について、野菜等は電気柵での対応を考えている。今後こどもの登下校のスクールバス利用を要望していく。</p> <p>●学校、教育委員会が決められている。議会ではH28政策提言で運動着の無償化を取り上げている。医療費の無料化は高校生まで実現したが、制服や運動着は進展していない。</p> <p>●交通弱者対策は重要である。定住自立圏構想の中で、広域公共交通について協議することになっている。</p>



東沢地区



犬川地区



吉島地区



玉庭地区

意見交換会

4会場で開催

新庁舎整備多様な意見

町民との意見交換会が8月21、22日の両日開催された。今回は犬川・玉庭・東沢・吉島の4地区で行われた。今年のテーマは「新庁舎建設」と「森のマルシェの運営」で、関心が高く活発な意見交換となった。

意見交換会は、議会基本条例で定められた最重要項目の一つである。議員各自は政治活動の中で地域の課題や個人の相談などの解決に日夜努力している。しかし、大きな地域課題や政策的な事項に関しては議会として取り組んだほうが進展する場合が往々にしてある。

議会は行政に対して直接執行権がなく、即効性がないため、本町議会では提言の執行状況を一年後に検証している。提言の一方通行としない点特徴で、全国でも数少ない。

重要項目のテーマで意見交換

今年、新庁舎建設と森のマルシェの運営についてのテーマで話し合われた。

新庁舎建設では、町民が来庁された時の庁舎の利便性やスムーズな業務運営などで施設面での要望の聞き取りをした。子ども連れや体の不自由な方への配慮も出された。

森のマルシェでは、指定管理の在り方や経営する努力が足りないのではないか、欲しいものがない、など厳しい意見も出た。

協力いただいた地区交流センターと関係者に感謝申し上げます。

森のマルシェでは、指定管理の在り方や経営する努力が足りないのではないか、欲しいものがない、など厳しい意見も出た。

職員が働きやすい環境にすべきであるとの意見も出された。

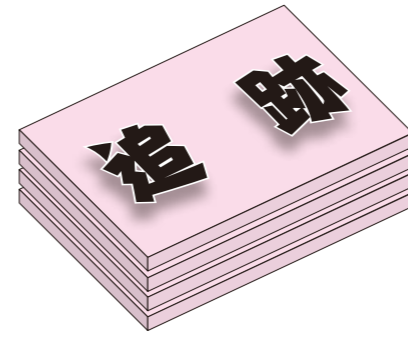
『政策提言』会議へのご案内

第6回目の政策提言書の提出に町民の皆さんの傍聴をお願いします。

とき 10月26日(金) 15:00

ところ 川西町議会議場

あれから…… どうなった！



かわにし夏まつり

参加者増え一大イベントに

平成17年
夏まつり休止



平成24年
かわにし
夏まつり復活
花火が好評
年々参加者増加



かわにし夏まつりの原点 昭和38年の花笠パレード

今年のかわにし夏まつりは天候にも恵まれ史上最高の9千人の人出となって大盛況だった。いつもは静かな町が、どこにこんな人がいたのか不思議なくらいであった。特に若い人や子どもたちの姿が目立った。今回は、かわにし夏まつりについて追ってみたい。

川西町教育委員会60周年記念誌の年表に「昭和38年8月27日小松地区婦人会が花笠パレードを開催。以後、全町あげての恒例行事となる」との記載がある。全町規模での夏のイベントとしてのかわにし夏まつりの起源は上小松諏訪神社の祭りと合わせて行われたのが始まりである。その後、パレードの名称や期日、コースなどが変わって開催され続け、昭和50年からは

「奉賛獅子祭り」、昭和59年の「地酒と黒ベこまつり」とともに、川西の夏の一大イベントとなった。正確な参加者・観客数の50年代の記録はないが、昭和61年の24回大会では1500人の参加、平成9年の35回大会では3000人の参加の記録がある。平成16年まで開催され町民を大いに楽しませた。

行財政改革と再開

平成17年からの国の

三位一体改革のありを受け、徹底した行財政改革が迫られ、イベントの中止となった。平成24年になってから8年ぶりに「かわにし夏まつり」が復活、総合運動公園で開催され4000人の人出でにぎわった。平成26年からは現在のフレンドリープラザ前に会場を移している。

話が変わるが、今年の甲子園で金足農業高校が大活躍した。30年前花笠パレードの際にも金足農業の活躍を聞きながら準備した記憶がよみがえってきた。運営の課題もあるようだが、特に子どもたちの記憶に残る夏の風景としてますます盛り上げ、地域づくりに結び付けてほしい。

全員協議会

全員協議会は地方自治法で、会議規則に定めることにより、「議案の審査、または運営に関する、協議または調整を行う場」として位置づけられている。

8月10日
全員協議会

新庁舎整備着々と

1、役場新庁舎基本設計の進捗状況について
*プロポーザル方式による事業者の選定により委託契約先を決定。その後基本設計に入り、つづいて実施設計に入

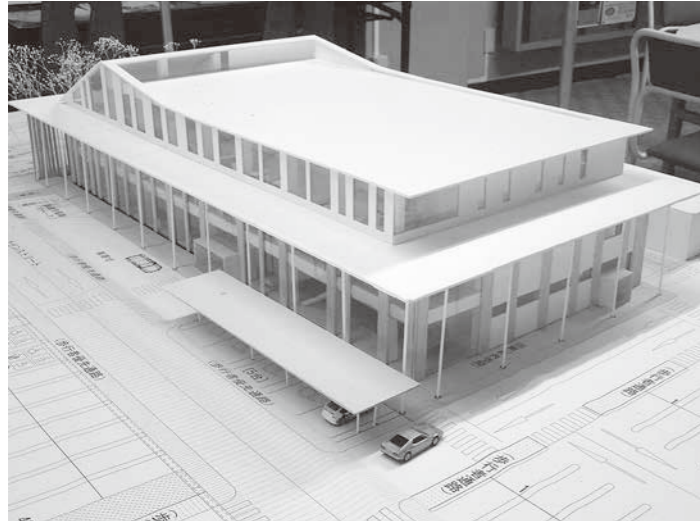
ることとなる。
(1) 契約先
鈴木建築設計事務所
代表取締役
藤原 薫

(2) 契約期間
平成30年2月20日～平成31年1月31日まで。
3回にわたる町民ワークショップの実施結果、配置計画(案)・平面設計図(案)の報告が行われた。
2、議会意見交換会について

平成29年度の行政評価が報告された。
内部(各担当課)の政策評価は、順調及びやや順調が14、やや課題ありが1となった。

外部(まちづくり委員会)の政策評価は、順調及びやや順調が11となった。この結果を分析し、事業の有効性を高め次年度以降の事業、予算に反映する。
2、指定管理者の評価結果および選定方法について

川西町民体育館、川西町斎場、かわにし森のマルシェの3施設等について概ね良好との総合評価であった。また、公募によらない指定管理者候補選定の理由も示された。
3、2019年度「本



新庁舎完成予想模型 = 中央公民館展示中

9月19日
全員協議会
1、行政評価の結果について

今年度4地区で開催される議会意見交換会について、日程等内容の検討がなされた。

正誤表

議会だより第134号に誤りがありました。
誤P6 越智専氏
正 越智専氏
誤P18 吉祥幸雄さん
正 吉祥幸雄さん
お詫びして訂正いたします。

まちの未来が見える(9月定例会の傍聴者は3人)
議会傍聴においでください
次回定例会は12月です

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



プロフィール

大木佐知子(おおき さちこ)

高島町生まれ 玉庭地区
家族 祖父、祖母、母、夫、
子供3人(一男二女)
8人家族

魅力ある教育政策と
効果的な情報発信を

玉庭地区にお住まいの
大木佐知子さんに、子
育てや町に望むことを
聞きました。

川西町に住んで

隣接する高島町から
嫁いできました。一男
二女に恵まれ、充実し
た日々を送っています。

玉庭は、草木が芽吹
く春、息をのむほど満
天の星が輝く夏、黄金
色に染まる実りの秋、
一面銀世界に覆われる
冬など、豊かな自然に
囲まれ、子育てには最
高の環境です。

もともと結婚するな
ら親と同居したいと思
っていました。玉庭に
縁があり、家族や地域
の皆さんに支えてもら
いながら、ゆったりし
た気持ちで子育てする
ことができています。

充実した子育て

四世代同居は私にと
っては圧倒的に長所



毎日笑顔の家族です

方が多く、本当にあり
がたいと感じています。
子どもは多様な価値
観を知り、伝統や風習
を学び、優しい心が育
ちます。

年寄りから子どもから
元気をもらっています。
普段から生活を共にす
ることで、将来どんな
に大変なことがあつた
としても、家族で協力
して立ち向かうことが
できるのではないかと
思います。

地域の人にも本当に
良くしてもらっています。
隣近所の結びつき
は実家よりも強いと感
じます。最初は少し戸
惑いしましたが、今では

本当にありがたいです。

小学校も現在は児童
数が少なく完全複式学
級ですが、一人ひとり
に丁寧に向き合っても
らい、きめ細やかな教
育をしていただしてい
ます。

町に望むこと

こんなにも素晴らしい
ところで充実した毎
日を送れるのに、人口
は減少しているのが本
当にもったいないと感
じます。魅力ある教育
政策や効果的な情報発
信等で、より活気ある
町づくりをお願いした
いと思います。

編集のあと

▼今定例会は29年度の
決算審査、30年度補正
予算を含め18日間慎重
に審査を行ってきた。

▼結果を、議会だより
で町民の皆様に分かり
易く、誤解を与えない
掲載ができるだろうか
と思うほどのボリューム。
▼要点を簡潔にと
心がけ、間違いないか
確認。前号と同じてつ
を踏まないように細心
の注意を払う。

(進)

- | | |
|------------|-------|
| 発行責任者 | 加藤 俊一 |
| 委員長 | 佐々木賢一 |
| 副委員長 | 伊藤 寿郎 |
| 委員 | 橋本 欣一 |
| 同 | 神村 建二 |
| 同 | 鈴木 幸廣 |
| 同 | 伊藤 進 |
| アドバイザー(文章) | 金子 勤 |
| アドバイザー(写真) | 平田 和雄 |
| アドバイザー(写真) | 青木 督平 |
| 青木 督平 | 鴨 源一 |
| 齊藤 史郎 | |